



2023年5月18日

各位

会社名 新日本理化株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 三浦 芳樹  
(コード: 4406、東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員企画管理本部長 埴下 太一  
(TEL. 06-6202-6598)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年5月11日に開示しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。(訂正箇所は\_\_で示しております。)

また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容について一部に誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正内容

サマリー情報

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	173	△728	△3	2,771
2022年3月期	1,078	△1,602	861	3,329

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	104	△659	△3	2,771
2022年3月期	1,078	△1,602	861	3,329

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、5億5千7百万円減少し、27億7千1百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は1億7千3百万円増加（前期は10億7千8百万円増加）しました。これは仕入債務の減少25億9千1百万円があるものの、売上債権が29億2千4百万円減少したことが主な理由であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は7億2千8百万円減少（前期は16億2百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億9千3百万円によるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、5億5千7百万円減少し、27億7千1百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は1億4百万円増加（前期は10億7千8百万円増加）しました。これは仕入債務の減少25億9千1百万円があるものの、売上債権が29億2千4百万円減少したことが主な理由であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は6億5千9百万円減少（前期は16億2百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億9千3百万円によるものであります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他	127	<u>719</u>
小計	910	<u>190</u>
	(略)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,078	<u>173</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他	△16	<u>△78</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,602	<u>△728</u>
	(略)	

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他	127	<u>651</u>
小計	910	<u>122</u>
	(略)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,078	<u>104</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他	△16	<u>△9</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,602	<u>△659</u>
	(略)	

以 上